

東伊豆・中伊豆地域公共交通網形成計画

2018年3月

静岡県・沼津市・熱海市・三島市・伊東市

伊豆の国市・東伊豆町・河津町・函南町

目次

序章 はじめに	1
序－1 策定の背景、目的	1
序－2 計画の位置付け	1
序－3 計画の区域（構成する市町）	2
序－4 計画の策定体制及び経緯	2
序－5 計画策定フロー	3
序－6 調査の実施概要	4
第1章 東伊豆・中伊豆地域を取り巻く現状	6
1－1 地域の概況	7
1－2 公共交通の状況	12
1－3 移動実態と意向	21
第2章 課題の整理	30
第3章 基本的な方針と計画の目標	32
3－1 上位計画、関連計画の確認	32
3－2 基本的な方針	36
3－3 計画の期間	38
3－4 計画の目標	39
第4章 課題解決のための取組	44
4－1 課題解決のための取組、実施主体	44
4－2 実施スケジュール	47
4－3 取組位置図	48
4－4 取組の参考事例	49
第5章 計画の実現に向けて	66
5－1 計画の推進体制	66
5－2 評価の進め方と時期	67

序章 はじめに

序－１ 策定の背景、目的

東伊豆・中伊豆地域（沼津市（静浦、内浦、西浦地域）、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、函南町）（以下、本地域と呼ぶ）は、鉄道や路線バス、デマンド型交通、タクシーなどの公共交通手段が確保されているが、人口減少や少子高齢化、乗務員不足等の背景から、地域や路線によっては公共交通の確保が困難となることが懸念される。一方、本地域への観光客は増加傾向にあり、観光客の移動手段として公共交通の重要性は高いと考えられる。

このような背景の中、人口減少社会に対応した持続可能な地域公共交通の確保や基幹産業である観光を支える地域公共交通の提供を行うことを目的として、東伊豆・中伊豆地域公共交通網形成計画を策定するものである。

序－２ 計画の位置付け

2013年12月に、交通に関する基本理念等を明らかにする「交通政策基本法」が施行され、本法に基づき、国が交通政策基本計画を策定した。また、地方公共団体は、「国との適切な役割分担を踏まえ、その地方公共団体の区域の自然的経済的社会的諸条件に応じた施策を策定し、実施する責務を有する」とされた。

そのため、県と関係市町が共同で「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにするマスタープランである地域公共交通網形成計画を策定するものである。

なお2015年度に南伊豆・西伊豆地域（沼津市（戸田地区）、下田市、伊豆市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町）で地域公共交通網形成計画を策定していることから、伊豆地域としての一体的な取組となるよう十分な連携を図る。

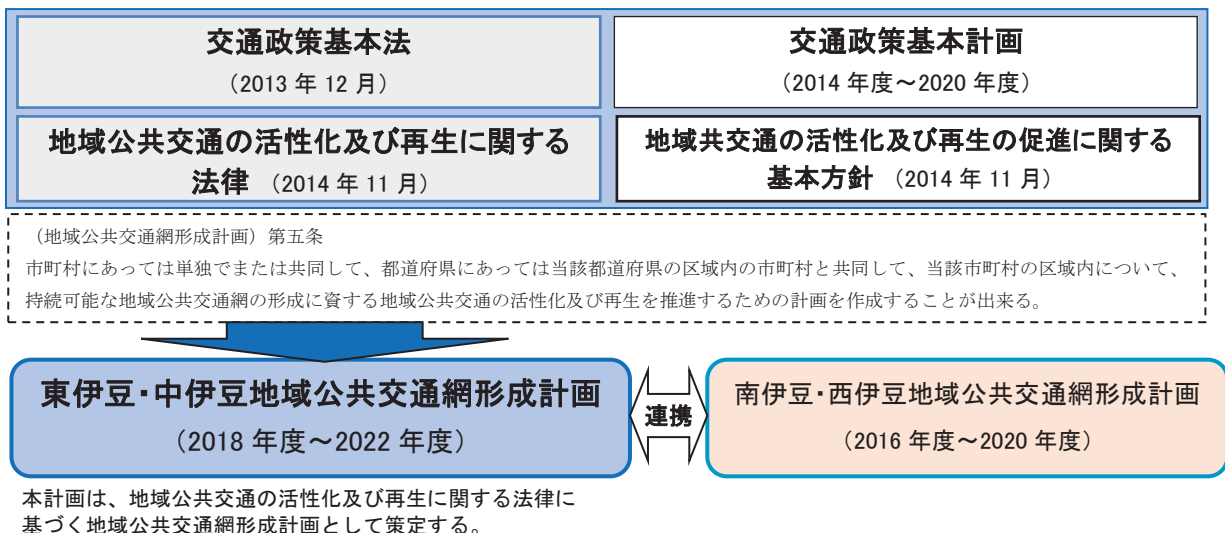


図 1 計画の位置付け

序－3 計画の区域（構成する市町）

本計画の区域は、2015 年度に地域公共交通網形成計画を策定した南伊豆・西伊豆地域と隣接する地域であり、鉄道を基幹的な交通手段としている東伊豆・中伊豆地域として、沼津市（静浦、内浦、西浦地域）、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、函南町の 8 市町の区域を対象とする。

- | |
|-----------------|
| 沼津市（静浦、内浦、西浦地域） |
| 熱海市 |
| 三島市 |
| 伊東市 |
| 伊豆の国市 |
| 東伊豆町 |
| 河津町 |
| 函南町 |

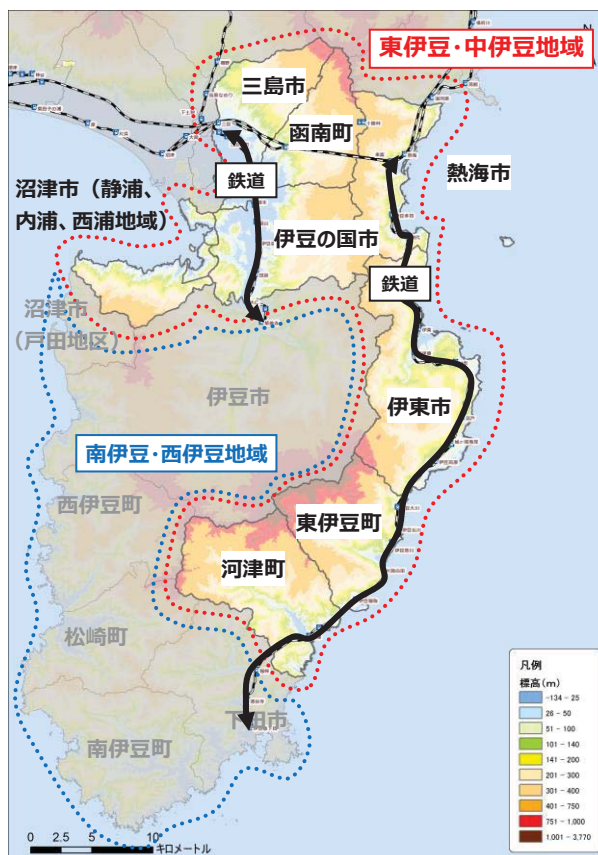


図 2 計画の区域

序－4 計画の策定体制及び経緯

1 計画策定の体制

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき 2017 年 4 月に法定協議会として、「東伊豆・中伊豆地域公共交通活性化協議会」を設置し、本計画の作成に関する協議及び実施に係る連絡調整を行った。

また、協議、調整を円滑に進めるため、実務担当者による担当者会議を設置し、適宜開催した。

2 開催の経緯

(1) 東伊豆・中伊豆地域公共交通活性化協議会

回	開催日時	協議事項
第1回	2017年4月14日(金)	協議会の設置について 調査事業の国庫補助申請について(報告)
第2回	2017年10月12日(木)	計画の策定作業について(報告)
第3回	2018年1月31日(水)	調査結果、課題、分析結果について(報告) 計画骨子案(方針設定、方向性、実現のための取組)について
第4回	2018年3月22日(木)	地域公共交通網形成計画(案)について

(2) 担当者会議

回	開催日時	協議事項
第1回	2017年8月31日(木)	公共交通に関する課題、調査の実施方法について
第2回	2017年11月27日(月)	調査結果、課題整理、方針(案)と目標(案)について
第3回	2017年12月22日(金)	計画骨子案、取組の具体例について
第4回	2018年1月22日(月)	計画骨子案について
第5回	2018年2月28日(水)	地域公共交通網形成計画(案)について

序-5 計画策定フロー

本計画は、以下の流れで策定した。

現状、課題については、地域住民へのアンケート調査やヒアリング調査、本地域に來訪する観光客を対象としたアンケート調査、事業者へのヒアリング等により把握を行った。

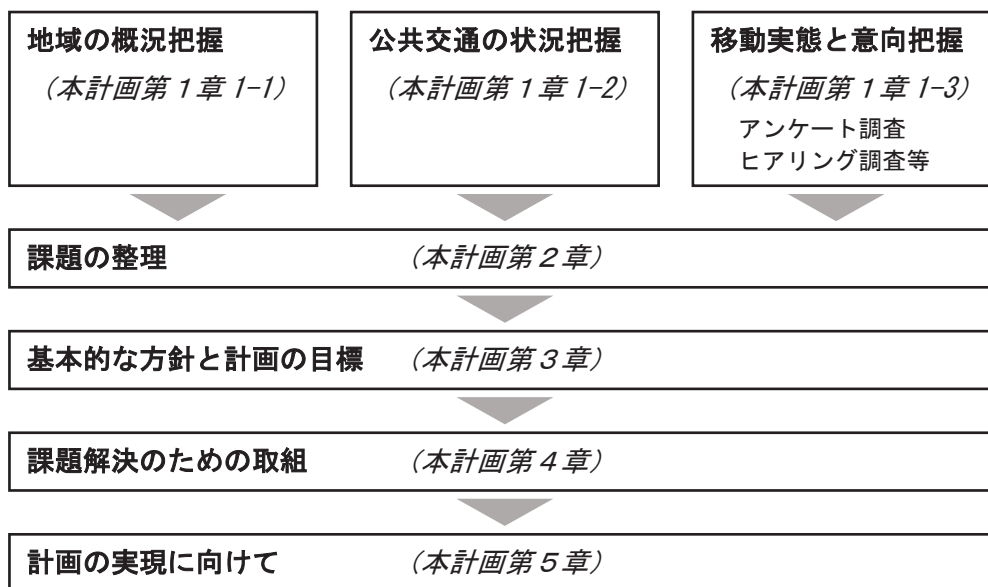


図3 計画策定フロー

序－6 調査の実施概要

計画策定に向け実施及び活用した調査の概要を整理する。

(1) 地域住民アンケート調査・ヒアリング調査

本計画を策定する上で、対象地域のうち7市町（沼津市（静浦、内浦、西浦地域）、熱海市、三島市、伊東市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町）の住民の方を対象にアンケート調査を実施した。函南町は別途、町が実施したアンケート調査結果を活用した。

調査は、2017年9月から10月にかけて、住民基本台帳から無作為で15歳以上の方を対象に抽出し、対象者へ郵送配布、郵送回収で実施した。

調査項目は、①個人属性、②外出実態、③公共交通の満足度、④公共交通を利用する際に重視する項目に対する意向等を設定し、地域住民の移動実態及び公共交通の意向を把握した。

また、地域住民アンケート調査の補完調査として、ヒアリング調査を実施した。

■地域住民アンケート調査、ヒアリング調査

【調査時期】2017年10月～2018年1月

【調査対象】本地域の住民

【調査方法】アンケート調査は郵送による配布、回収、ヒアリング調査は住民への聞き取り

【調査項目】①個人属性、②外出実態、③公共交通の満足度

④公共交通を利用する際に重視する項目に対する意向等

(2) 観光客 Web アンケート調査

本地域に直近1年以内での来訪経験を持つ方を対象に、Webアンケート調査を実施した。

調査項目は、①個人属性、②旅行形態、③本地域内での移動実態、④観光で公共交通を利用する際に重視する点、⑤本地域に観光で来訪する際の情報収集について、⑥公共交通への要望を設定し、観光客の移動実態や公共交通への意向を把握した。

■観光Webアンケート調査

【調査時期】2017年11月

【調査対象】登録モニターのうち、直近1年以内に本地域に来訪した経験を持つ方

【調査方法】登録モニターへのメール配信、Web上で回答

【調査項目】①個人属性、②旅行形態、③本地域内での移動実態、

④観光で公共交通を利用する際に重視する点

⑤本地域に観光で来訪する際の情報収集について

⑥公共交通への要望を設定し、観光客の移動実態や公共交通への意向

(3) 市町・事業者ヒアリング調査

各市町公共交通担当者や鉄道、路線バス、タクシーなど交通事業者を対象に、公共交通の現状や課題等についてヒアリング調査を実施した。

(4) 伊豆地域鉄道利用状況調査 (2016 年度実施)

南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会が J R 伊東線、伊豆急行線、伊豆箱根鉄道駿豆線の利用実態を把握するため、鉄道利用者を対象とした鉄道利用動態調査及び交通結節点利用評価調査 (伊東駅、伊豆急下田駅、修善寺駅の 3 駅) を行っている。

調査項目は、個人属性、移動目的、発着駅、鉄道駅まで及び鉄道駅からの移手段、出発地及び目的地について把握している。

■ 鉄道利用動態調査

【調査日】 平日：2016年12月8日 (木)、休日：2016年12月11日 (日)

J R 伊東線、伊豆急行線、伊豆箱根鉄道駿豆線の始発から終電まで対象

【調査対象】 上記 3 路線を利用する全ての方

【調査方法】 各駅に調査員を配置し、利用者に調査票を乗車駅で配布、降車駅で回収

【調査項目】 ①個人属性、②移動目的、③発着駅、鉄道駅まで及び鉄道駅からの移手段、
④出発地及び目的地

■ 交通結節点利用評価調査

【調査日】 鉄道利用動態調査と同日

【調査対象】 伊東駅、伊豆急下田駅、修善寺駅に観光目的で来訪した方

【調査方法】 上記 3 駅に調査員を配置し、利用者に聞き取り

【調査項目】 ①個人属性、②移動実態、③交通結節点の評価及び改善要望、
④交通結節点での待ち時間の実態

(5) 高校生アンケート調査 (2017 年度実施)

バス事業者 (東海自動車、伊豆箱根バス) が本地域内の高校、及び本地域に居住する高校生が通う可能性が高い高校として、以下の 19 校を対象としたアンケート調査を実施した。

【調査時期】 2017 年 10 月～11 月

【調査対象】 対象高校 (計 19 校) へ通学する生徒

熱海高校、伊東高校、伊東商業高校、伊東高校城ヶ崎分校、稲取高校、
下田高校、下田高校南伊豆分校、松崎高校、土肥高校、伊豆総合高校、
伊豆中央高校、沼津工業高校、沼津商業高校、韮山高校、田方農業高校、
三島南高校、三島北高校、三島長陵高校、沼津城北高校

【調査方法】 生徒にアンケート調査票を配布し、後日回収

【調査項目】 ①個人属性、②通学時の路線バスの利用実態、③路線バスに対する意見
④路線バスを利用しない理由、⑤その他 (時刻表や時刻検索サイトなどの認知)